

製品名: EBF1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87703**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:65 kDa; Observed MW:65 kDa

抗原情報

遺伝子名	EBF1
別名	EBF; COE1; OLF1; O/E-1
遺伝子 ID	1879, 13591, 116543
SwissProt ID	Q9UH73, Q07802, Q63398
免疫原	ヒト EBF1 の合成ペプチド

背景

DNA 結合転写活性化因子活性、RNA ポリメラーゼ II 特異的活性、および RNA ポリメラーゼ II シス調節領域配列特異的な DNA 結合

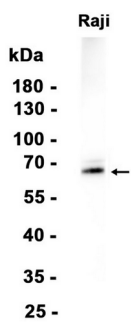
活性を可能にすると予測される。RNA ポリメラーゼ II による転写の正の制御に関与すると予測される。転写の正の制御の上流または制御内部で作用すると予測される。DNA を鋳型とする。核内に局在すると予測される。クロマチンの一部であると予測される。

[Alliance of Genome Resources 提供、2022 年 4 月]

研究分野

-

画像データ



EBF1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Raji 細胞抽出物のウェスタン ブロット分析。